

[様式－4]

平常－6

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属支部	筑後川支部	氏名	塚本 剛好
活動地区	筑後川河川事務所管内の各出張所		
活動年月日	令和5年6月1日～22日		
活動内容	<p>出水期前に各出張所において、水防備蓄資材の点検・確認にエキスパートも参加して、場所や資材保管状況を確認して、備蓄にあたっての助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●6月1日:久留米出張所:2名(荒木、岡田) ●6月7日:諸富出張所:2名(勝木、吉村) ●6月9日:日田出張所:4名(古賀、加藤、村上、塚本) 矢部川出張所:4名(森田、中村、山下、杉山) ●6月12日:吉井出張所:3名(橋口、田熊、松本) ●6月15日:大川出張所:4名(宮崎、宮原、今井、野口) ●6月22日:片ノ瀬出張所:4名(山本、鹿毛、一宮、後藤) <p>【助言内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水防資材台帳との整合 ・出入り口やフェンス、保管にあたっての安全対策や敷地内の整理 ・看板の設置 ・敷地の竹林等の繁茂対策 ・根固めブロックのナンバリング ・クレーン車による積み込み作業の可否、配置計画 ・搬出経路、堤防天端道路の離合箇所確認 ・劣化が進んだ大型土嚢や袋詰め玉石の処分 ・持ち出しに支障となる架空線の対応 等 		
活動写真等	 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>諸富出張所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>片ノ瀬出張所</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>吉井出張所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>日田出張所</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>広川防災ステーション</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>矢部川出張所</p> </div> </div>		

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属地区	佐賀(河川)支部	氏名	酒井 正二郎
活動地区	「河川合同巡視」		
活動年月日	令和 5 年 5 月 15~19日		
活動内容	<p>(合同巡視実施日と参加人員)</p> <p>①松浦川出張所管内 5月16日(野坂正、田中定光、鶴崎秀樹) ②嘉瀬川出張所管内 17日(古賀正人、中原鶴見、永松和彦、福山龍一) ③朝日出張所管内 18日(福山龍一、松意思忠俊) ④牛津川出張所管内 19日(酒井正二郎) 計9名(延べ10人)</p> <p>(活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各出張所毎に分担して合同巡視に参加 ・危険個所、重要水防箇所、水防資材を事務所及び関係機関と合同で確認した 		
活動写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>嘉瀬川の巡視状況</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>朝日出張管内の巡視状況</p>  </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>松浦川の巡視状況</p>   </div>		

[様式一4]

平常-8

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属地区	宮崎地区	氏名	奥野博史
活動地区	宮崎河川国道事務所管内防災エキスパート会 合同巡視		
活動年月日	令和5年5月22日～31日		
活動内容	<p>場所： 宮崎出張所、高岡出張所、本庄出張所、都城出張所、高鍋出張所管内 参加者(エキスパート会)： 酒井俊次、久保尚男、末吉正志、坂本誠吾、下西浩二、東和彦、奥野博史</p> <p>参加内容：各出張所毎に分担して合同巡視に参加 危険箇所、重要水防箇所、水防資材を事務所及び関係機関と合同で確認 (関係機関：気象台、九電、県土木事務所、市町、水防団、公民館長等)</p> <p>分担： 宮崎：東、奥野、高岡：東、久保、都城：久保、末吉、本庄：坂本、下西 高鍋：酒井</p>		
活動写真等	<p>20230522 高鍋地区</p>  <p>20230523 宮崎地区</p>  <p>20230526 高岡地区</p>  <p>20230523 都城地区</p>  <p>20230531 本庄地区</p> 		

様式-4

平常-9

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属地区	筑後川河川事務所地区	氏名	塚本 剛好
活動地区	令和5年 筑後川河川事務所 堤防決壊時の緊急対策シミュレーション演習		
活動年月日	令和5年6月22日(木)		
活動内容	<p>【筑後川河川事務所 1階会議室】</p> <p>1 日 時： 令和5年6月22日(木) 14:00 ~ 16:00</p> <p>2 場 所： 筑後川河川事務所 1階会議室</p> <p>3 参加者： 事務所:吉田 事務所長、安部・坂本 技術副所長、熊井 総括地域防災調整官 【総勢44名】 工務第一課 鳥井 課長 (9名) (筑後29名) 出張所:塚本 久留米出張所長、他6出張所(全出張所 (全14名) 【工15名) 防災エキスパート会:塚本 剛好、後藤 信孝 外出張所所属含む(13名)</p> <p>4 演習： ①事務所長挨拶 ②災害発生時の役割と心得(先輩方の経験から) ③職員(出張所含む)・防災エキスパート会を4班に分かれ復旧工法等並びに課題検討</p> <p>5 演習内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> 各班検討 各出張所毎の被災箇所を想定し災害発生に伴う増破抑制及び荒縫切・復旧工法等検討 各班報告 各班検討状況並びに課題や反省点等発表(発表に対する意見交換実施) ※活発な工法検討や意見交換が行われていた。 <p>6 演習内容等に関する助言(各班毎での演習であったため主な事項として記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> 破堤箇所の状況から、上下流側の進入路確保や管理用道路の早急な通行止め実施。 外水氾濫を早急に防ぐ必要から根固めブロックの投入と岩碎投入による被災箇所を塞ぐことが重要である。 資機材のストックは事務所管内だけではなく、近隣事務所のストック状況等の情報も把握しておいた方が良い。また、機材並びに機器類の災害協力会社保有台数などの把握も必要。 照明車等の配置計画も考慮し近隣の土地利用等も含めて把握しておくこと。 <p>※災害復旧対応は時間との戦いでもあり、職員並びに協力会社社員等安全面及び健康への配慮も必ず実施すること。(安全第一での作業を)</p>		
活動写真	        		

[様式一4]

平常-10

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属地区	佐賀(河川)支部	氏名	福山龍一・糸山国彦
活動地区	堤防決壊時の緊急対策シミュレーション (①洪水時) (②地震時)		
活動年月日	①令和5年6月22日(木)13:30~16:30 ②令和5年11月22日(水) 13:15~16:20		
活動内容	<p>①緊急対策シミュレーション(洪水時)</p> <p>【参加人員】 事務所:事務所長以下48名 防災エキスパート:福山、足立、古賀(正)、菊永 計4名 他</p> <p>【演習内容】 ・六角川を対象に、堤防決壊による洪水被害を最小限に食い止めるため、職員の危機意識の醸成と対策技術の体系的整理に基づく技術水準の維持及び向上を目的に訓練を実施した。 ・進め方としては3班に分かれて応急復旧工法、運搬経路や資機材調達の検討等、並びに事務官も入っての出張所支援等のロジ訓練も行い、各班ごとに検討結果について発表を行い議論を実施した。</p> <p>②緊急対策シミュレーション(地震時)</p> <p>【参加人員】 事務所:事務所長以下33名 防災エキスパート:鶴崎・古賀(正)・糸山 計3名 他</p> <p>【演習内容】 ・城山南断層帯を震源とする地震が発生。マグニチュード7.0、震度6強の大地震が発生し、震源に近い松浦川堤防では多数の堤防変状が発生したという前提で「堤防決壊時の緊急対策シミュレーション(地震時)」を開始。 ・訓練の流れとして、地震発生→自動参集→1次点検→2次点検→緊急復旧工事の検討(本演習の検討内容)その後、本復旧工事へと繋げていく。 ・昨年度のアンケート結果より、本年度は①復旧方針、復旧目標の検討 ②応急復旧工法の立案、ロジ班の検討の2部構成で演習を行った。 ・技術2班、事務1班の3班に分かれて熱心な議論を終始行い、お互いの検討内容を発表し情報交換を行った。事務官(3班)によるロジ訓練も含めた形で活発な議論を行うことで、効果的なシミュレーションを行うことができた。 ・防災エキスパート会としては、各班が検討する過程において、経験に基づくアドバイス等を行い、潤滑油的な役割(支援)を実施した。また、武雄河川が管理する3河川は、特徴が各々違うことから議論の必要性(技術面)を投げかけた。</p>		
活動写真等	 		
洪水時シミュレーション (6月22日)	 		
地震時シミュレーション (11月22日)	 		